



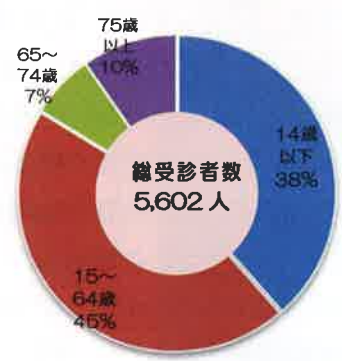
地域医療情報紙

平成 28 年 3 月 1 日発行
長門市 健康増進課
地域医療連携室

～安心して暮らしていける地域の医療を守るために～
初期救急医療機関 長門市応急診療所へ



受診者の年齢構成



受診理由



(H25.10月~H28.1月)

休日や夜間の急病の際に安心して受診できる医療機関として、平成 25 年 10 月から診療を開始し、平成 28 年 1 月末で、5,602 名の受診がありました。そのうち、14 歳以下の小児が 38%、65 歳以上の高齢者が 17%を占めています。受診時の症状としては、急な発熱が最も多く、次いで咳や頭痛などの風邪症状、下痢や腹痛などの消化器症状が大半を占めています。

初期救急医療機関とは

入院治療を必要としない、比較的軽症な救急患者を受け入れる医療機関



上手に活用しよう！長門市応急診療所



応急診療所を利用してください

桑原医院 院長 桑原宏太郎

応急診療所が開設し2年が経過しました。診療所では平日夜7時から10時まで、休日の午前9時から午後5時まで軽症の患者さんの診療を行っております。診療は山口大学病院や県立総合医療センターの医師と市内の開業医が順番で担当しております。受診者は平日夜は2～5人、休日は20人前後で、インフルエンザの流行時期になると1日50～90人になります。

応急診療所は二次救急医療機関の先生の診療の負担を軽くする目的で開設されました。軽症の患者さんを応急診療所で診療することにより病院の先生に時間的ゆとりができ、重症の救急患者さんの診療に専念していただくことができます。地域医療崩壊が言われる中、全国の地方の病院では医師不足で困っているところが多くあると聞いています。

長門市においてはそこまでに至っていませんが今後は医師の確保が難しくなることが予想されます。地域の救急医療を守っていくには病院の先生が働きやすい環境を提供していく必要があります。そのためには我々開業医も協力を継続しなければなりませんし、市民の皆さんの協力も重要です。すぐに診察してもらえないため時間外に受診する「コンビニ受診」、軽症にもかかわらず救急車で受診する「軽症救急車搬送」が問題になっています。このことが救急病院の医師の仕事を忙しくし疲弊に繋がっています。長門市には上記のような患者さんが少ないことは大変有難いことです。今後も皆さんには適切な医療受診にご協力いただき医療、保健福祉の充実した長門市を市全体で築いていければと思います。応急診療所をその一助として活用していただければ幸いです。

尚、応急診療所の平日の診療開始時間は7時と遅いため少し待っていただくと思いますがご理解よろしく申し上げます。休日夜間と土曜日の診療は行っていませんのでご注意ください。

日によって担当する医師の専門科が違います。受診前に電話で問い合わせることをお勧めします。

※二次救急医療機関とは：入院治療を必要とする救急患者を受け入れる医療機関。

市内では岡田病院、斎木病院、長門総合病院



応急診療所を受診して ～市民としてできること～

長門市西深川板持一区
三戸幸子

去年の4月26日日曜日の午前10時ごろ、私のケータイが鳴りました。市内で一人暮らしをする85才の義兄からでした。「前から腰が痛かったが、昨夜は腰に加えて足の痛みもひどくなり全く寝られなかった。どうしたらいいものか。」とのこと。前日から我慢していた様子です。しかしあいにくの日曜日でどこも休診。でもこのままにしておけないと思い応急診療所に電話、午後車で一緒に行くことにしました。

待合室には2～3人の方がおられ、受付を済ませて診察室へ入ると、担当医は私も知っている地元医師会の先生でした。先生は、義兄の行きつ戻りつの症状説明にも耳を傾け、ベッド上での検査が済むと「痛み止めの薬を出しておきましょう。かかりつけの先生にもちゃんと診てもらってね。」と言われました。

翌日家に様子を見に行くと、「ゆうべは痛みが軽くなりよく寝られた。受診してよかった。よく話も聞いてもらえた。」と笑顔も見せて言ってくれました。

高齢者と共に独り暮らしの方が急な病気や体調不良になったとき、しかもそれが休日や夜であればどこに受診したらいいのか分からず不安だったことがあるのではないのでしょうか。高齢者だけでなく、お子さんを抱えたお母さんや日頃は元気な私達も同じです。

応急診療所がオープンしてから2年余り、休日や夜間の急な発熱や腹痛など比較的軽症と思われる症状に対応してもらえるので、安心して過ごすことができるようになりました。

診療は長門市医師会の先生方等が順番に担当され、休み返上で頑張っておられます。私たち市民も、長門市で安心して医療が受けられるためにできることがあるのでは？

急な病気に備えて日頃から「かかりつけ医をもち、相談しながら自分の健康管理をすること」、そして「受診はなるべく診療時間内に」、を心がけたいものです。

今回、義兄の受診を経験して、それらを実感しました。

長門市救急医療対策協議会（住民代表）



H27年度

健康づくり・介護予防・地域医療啓発の主な取り組み

★9月19日

地域医療講演会『がんと共に生きてみて』
～がん検診の大切さ～



ジャーナリストの鳥越俊太郎氏による「がん検診の大切さ」など体験に基づいた講演

同時開催 健康づくりのつどい



体脂肪や血管年齢、骨密度などの測定
自分の体や生活習慣の振り返りになったのでは？

★1月27日

地域医療啓発：浅井ひまわり会



「長門市応急診療所」の紹介



みんなで一緒に「ころぼん体操」実践
転倒予防・毎日の健康づくりのために…
ぜひ毎日続けましょう！

★10月29日

育児講演会

『そこが知りたい！子どもの急病』



長門総合病院副院長 青木宜治先生による「急な病気やけがの際の対応」についての講演

いつまでも元気で生き生きと過ごせるよう、健康づくりを支援します。紹介の事業以外にも様々なイベントや、教室を開催していますので参加して元気な体をつくりましょう。

※地域の団体やグループへの健康出前講座に出向きます。

問い合わせ：長門市地域包括支援センター
TEL23-1244

平成27年度

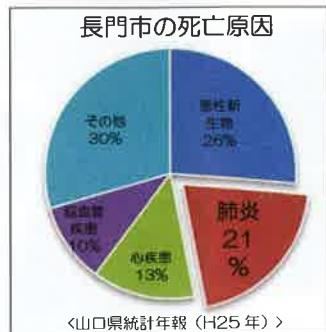
高齢者 肺炎球菌ワクチン 予防接種のお知らせ

肺炎は、日本人の死因の第3位ですが、**長門市ではがん**に次いで**第2位**を占めています。また、肺炎による死亡者の95%以上が、65歳以上の方です。肺炎で一番多い病原菌は肺炎球菌です。肺炎球菌ワクチンを接種しておく、肺炎の予防や肺炎にかかっても軽い症状ですむ効果が期待されます。



対象者は 年度ごとにかわります

平成27年度対象者の接種期間は、平成28年度3月31日までです。この期間に接種できなかった場合は、任意接種（全額自己負担）となりますので、接種を希望される方は、かかりつけの医療機関にご予約のうえ、お早目に接種してください。



平成28年3月31日までの接種対象者

65歳	昭和25年4月2日生 ~ 昭和26年4月1日生
70歳	昭和20年4月2日生 ~ 昭和21年4月1日生
75歳	昭和15年4月2日生 ~ 昭和16年4月1日生
80歳	昭和10年4月2日生 ~ 昭和11年4月1日生
85歳	昭和5年4月2日生 ~ 昭和6年4月1日生
90歳	大正14年4月2日生 ~ 大正15年4月1日生
95歳	大正9年4月2日生 ~ 大正10年4月1日生
100歳	大正4年4月2日生 ~ 大正5年4月1日生

※これまでに接種したことのある方を除く

60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方も対象となります。



自己負担 2,790円



通常1回の接種で5年以上免疫が持続します。

平成31年度からは、当該年度に65歳になる人のみが対象となる予定です。

参加しませんか？

健康関連行事予定

★ひとり暮らしのためのクッキングスクール

3月11日(金) 10:00~13:30
場所：長門市保健センター

対象：高校を卒業し新生活を始める人
内容：バランスよく食事のとりポイントや簡単に作る方法を教えます！

申し込みは…3月4日(金)までに
長門市保健センターへ



定員
30名

★ウォーキング教室

3月15日(火) 9:30~11:30

『一人ではなかなか取り組めない』という方ぜひ参加を！

集合場所：三隅保健センター



★まるごと長門「旬」市場健康コーナー

3月16日(水) 9:00~11:00

場所：まるごと長門「旬」市場(直売所)

内容：血圧測定、体脂肪測定 等



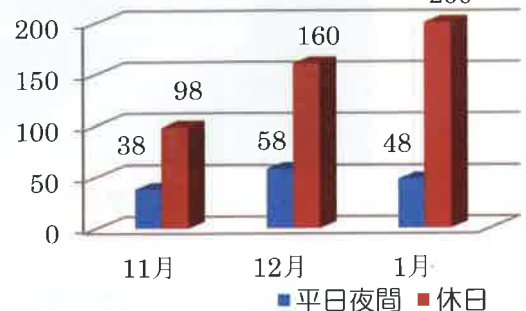
☆行事についてのお問い合わせ先

長門市保健センター TEL 23-1133

長門市応急診療所の受診状況

(休日昼間、平日夜間の初期救急患者)
(H27年11月1日~H28年1月31日)

月別受診者数
(平成27年11月~平成28年1月)



1日当たり受診者数

	11月	12月	1月
平日夜間	2.0	2.9	2.5
休日	14.0	22.9	25.0

この情報紙へのお問い合わせ・ご意見等がありましたら下記へお願いします。

■編集事務局 長門市市民福祉部健康増進課 地域医療連携室

TEL 0837-27-0255 FAX 0837-27-0266

※この情報紙の既に発行されたものは、市のホームページに掲載しております。

URL : http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/kurashi/welfare/chikiiryu_torikumi.html

E-Mail : chikiiryu@city.nagato.lg.jp